



2023年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年9月12日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093
 四半期報告書提出予定日 2022年9月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第1四半期の連結業績(2022年5月1日~2022年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第1四半期	1,016	△15.3	△288	-	△323	-	△261	-
2022年4月期第1四半期	1,199	32.3	△183	-	△205	-	△138	-

(注) 包括利益 2023年4月期第1四半期 △364百万円(-%) 2022年4月期第1四半期 △317百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第1四半期	△21.68	-
2022年4月期第1四半期	△11.44	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第1四半期	9,319	5,391	57.9
2022年4月期	9,774	5,871	66.5

(参考) 自己資本 2023年4月期第1四半期 5,391百万円 2022年4月期 5,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2023年4月期	-	-	-	-	-
2023年4月期(予想)	-	0.00	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,730	10.3	△235	-	△318	-	△288	-	△23.84
通期	6,046	19.8	△161	-	△291	-	△229	-	△18.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年4月期1Q	12,337,700株	2022年4月期	12,337,700株
② 期末自己株式数	2023年4月期1Q	257,684株	2022年4月期	257,684株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年4月期1Q	12,080,016株	2022年4月期1Q	12,083,591株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の長期化や、ロシアによるウクライナへの侵攻等による原材料価格、原油価格の上昇、急速な円安の進行の影響等により、依然として先行きは極めて不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、未だ厳しい状況が続いております。当社の主要顧客であるデジタルカメラ、時計、事務機器等の精密電子機器メーカーならびに自動車関連部品メーカー等の研究開発及び生産状況は、前年比では多少開発意欲は回復傾向にあるものの、世界的な資源・部材不足やサプライチェーンの混乱等により、生産活動が計画通り進まない状況や、新型コロナウイルス感染症の影響で顧客との面談機会が増加しない状況などにより、新規開発試作品製造・金型製造及び量産品製造の受注・生産の状況は大変厳しい結果となりました。ロボット・装置関連製品については、サポート・サービスロボット分野などのスタートアップ企業への出資なども含めた包括事業化支援を掲げた取組みにより、受託開発や受託製造の引き合いは拡大傾向にあります。同分野を中心としたスタートアップ企業への包括事業支援を掲げて、特に販売・量産フェイズの支援に注力しております。しかしながら、世界的な電子部品・電池などの部材調達が難航していること、株式市場の不安定な状況によるスタートアップ分野への資金流入が直近で若干停滞していること等を背景に、各社開発・製品化への取り組み速度が鈍化しており、ロボット装置関連製品の売上高は、計画を下回りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,016百万円(前年同四半期比15.3%減)となり、利益面につきましては、売上総利益は18百万円(前年同期比62.3%減)、営業損失288百万円(前年同四半期は営業損失183百万円)となりました。以下、受取配当金、助成金収入等の営業外収益51百万円(同7.4%減)を加算し、持分法による投資損失及び支払利息等の営業外費用86百万円(同11.7%増)を減じた結果として、経常損失は323百万円(前年同四半期は経常損失205百万円)となりました。さらに、特別利益として負ののれん発生益等1百万円を計上、一方で特別損失として段階取得に係る差損10百万円を計上しました。

これに税金費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は261百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失138百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、9,319百万円となり、前連結会計年度末比454百万円の減少(前連結会計年度末比4.7%減)となりました。うち、流動資産は、3,374百万円となり、前連結会計年度末比171百万円の減少(同4.8%減)となりました。これは、現金及び預金が275百万円減少(同16.0%減)したことが主因となっております。固定資産は、5,944百万円となり、前連結会計年度末比283百万円の減少(同4.6%減)となりました。これは、投資有価証券243百万円の減少(同5.8%減)によるものです。

負債合計は、3,927百万円となり、前連結会計年度末比24百万円の増加(前連結会計年度末比0.6%増)となりました。うち、流動負債は、2,241百万円となり、前連結会計年度末比85百万円の増加(同4.0%増)となりました。これは、短期借入金が91百万円増加(同7.8%増)したことが主因となっております。固定負債は、1,686百万円となり、前連結会計年度末比61百万円の減少(同3.5%減)となりました。これは、繰延税金負債が148百万円減少(同26.2%減)したことが主因となっております。

純資産は、5,391百万円となり、前連結会計年度末比479百万円の減少(同8.2%減)となりました。これは、その他の包括利益累計額が102百万円減少(同8.1%減)及び利益剰余金が382百万円減少(同16.6%減)したことが主因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大の長期化や、ロシアによるウクライナへの侵攻による情勢等が国内外への経済活動に影響が続いており、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績も影響を受けました。現在でも世界的な新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しは立っていないことやロシアによるウクライナの侵攻今後も収束の目途が予想できず、今後の受注活動においても影響を受けるものと予想されますが、2022年6月14日の公表時に入手可能な情報に基づき業績予想を策定しておりますが、現段階での数値に変更はありません。

なお、当社グループの業績は、事業環境の変化等、現在及び将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,717,572	1,442,563
受取手形	15,091	9,928
電子記録債権	273,747	248,647
売掛金	845,033	798,017
契約資産	32,141	65,066
商品及び製品	99,324	95,965
仕掛品	228,020	269,794
原材料及び貯蔵品	232,024	245,714
その他	237,189	324,289
貸倒引当金	△134,454	△125,514
流動資産合計	3,545,688	3,374,473
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,905,854	2,913,187
減価償却累計額	△1,557,437	△1,579,342
減損損失累計額	△477,740	△477,740
建物及び構築物(純額)	870,676	856,105
機械装置及び運搬具	3,364,103	3,457,587
減価償却累計額	△2,843,532	△2,940,505
減損損失累計額	△210,469	△210,469
機械装置及び運搬具(純額)	310,100	306,611
工具、器具及び備品	697,667	701,921
減価償却累計額	△607,482	△614,047
減損損失累計額	△16,985	△16,985
工具、器具及び備品(純額)	73,199	70,888
土地	525,693	527,100
建設仮勘定	4,730	4,730
有形固定資産合計	1,784,400	1,765,435
無形固定資産		
ソフトウェア	41,112	36,528
その他	5,354	5,542
無形固定資産合計	46,467	42,071
投資その他の資産		
投資有価証券	4,183,151	3,940,045
長期貸付金	3,638	2,191
繰延税金資産	6,131	6,449
その他	205,087	189,031
貸倒引当金	△348	△338
投資その他の資産合計	4,397,659	4,137,380
固定資産合計	6,228,527	5,944,887
資産合計	9,774,215	9,319,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	630,770	545,928
短期借入金	1,166,962	1,258,530
1年内返済予定の長期借入金	54,352	75,811
未払金	76,131	81,833
未払費用	114,448	133,911
未払法人税等	8,932	6,124
契約負債	15,589	15,205
賞与引当金	-	50,025
預り金	27,380	40,229
その他	60,581	33,526
流動負債合計	2,155,148	2,241,125
固定負債		
長期借入金	256,157	302,155
役員退職慰労引当金	402,904	406,230
退職給付に係る負債	28,700	29,185
資産除去債務	10,805	10,819
繰延税金負債	565,938	417,885
その他	483,353	520,053
固定負債合計	1,747,859	1,686,330
負債合計	3,903,008	3,927,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,843	1,303,843
資本剰余金	1,193,904	1,193,904
利益剰余金	2,310,015	1,927,258
自己株式	△198,939	△198,939
株主資本合計	4,608,824	4,226,066
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,296,446	1,139,583
為替換算調整勘定	△34,454	19,636
退職給付に係る調整累計額	391	375
その他の包括利益累計額合計	1,262,383	1,159,594
非支配株主持分	-	6,243
純資産合計	5,871,207	5,391,905
負債純資産合計	9,774,215	9,319,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)
売上高	1,199,616	1,016,644
売上原価	1,150,729	998,212
売上総利益	48,886	18,432
販売費及び一般管理費	232,310	307,286
営業損失(△)	△183,423	△288,854
営業外収益		
受取利息	82	77
受取配当金	24,048	27,479
助成金収入	21,679	16,632
その他	10,084	7,564
営業外収益合計	55,894	51,753
営業外費用		
支払利息	3,946	4,804
為替差損	3,839	3,391
持分法による投資損失	57,816	73,432
その他	11,952	4,990
営業外費用合計	77,553	86,618
経常損失(△)	△205,083	△323,718
特別利益		
固定資産売却益	-	207
持分変動利益	20,079	-
負ののれん発生益	-	1,610
特別利益合計	20,079	1,817
特別損失		
段階取得に係る差損	-	10,748
特別損失合計	-	10,748
税金等調整前四半期純損失(△)	△185,003	△332,649
法人税、住民税及び事業税	△906	5,822
法人税等調整額	△33,828	△76,515
法人税等合計	△34,734	△70,692
四半期純損失(△)	△150,269	△261,957
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,992	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△138,277	△261,957

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)
四半期純損失(△)	△150,269	△261,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165,528	△156,862
為替換算調整勘定	△2,123	54,090
退職給付に係る調整額	△19	△16
その他の包括利益合計	△167,671	△102,788
四半期包括利益	△317,941	△364,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△305,949	△364,746
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,992	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、「金属製品加工事業」の単一セグメントであるため省略しております。